

● ハリヨを守る会 記念誌の贈呈式に出席しました。

ハリヨを守る会が、今年度で活動50周年を迎えられ、今までの活動をまとめた記念誌を発行されました。10月17日に、町長への贈呈式があり、昨年度より活動にご一緒させていただいている本校科学部も出席させていただきました。野原部長がこれからの活動の抱負を語った後、岡崎町長より本校科学部にも激励の言葉をいただきました。



● 健康福祉エコフェアの報告

11月20日に池田町で健康福祉エコフェアが行われました。本校科学部も池田町ハリヨを守る会とご一緒させていただき、ブースを出展しました。活動をまとめたポスターを展示し、また生態展示の説明を行いました。生態系の保護のためには一部の活動だけではいけません。啓発的な活動を行い、町全体が知り、意識を喚起していくことが大切であると思います。また、本校科学部の活動を皆様に知っていただくよい機会となりました。



● ハリヨ池(清水池)の雑魚除去の報告

2月4日、ハリヨを守る会と合同でハリヨ池内の雑魚および天敵の捕獲をしました。池の水位を落とし、網にて捕獲しました。寒い日に低温の水の中に入っている作業は大変でしたが、率先して生徒たちは捕獲活動に加わっていました。フナ等はハリヨの巣を荒らし、またアメリカザリガニや大型肉食魚はハリヨを捕食します。昨年度に他の環境から持ち込まれたと思われるオヤニラミが発見されたのに続き、今年度は加えて外来種であるオオクチバスも捕獲されました。外来種の環境に与える負荷は大きく、これからも推移を見守っていきたいと思います。

また、活動終了後、守る会の方々に暖かい豚汁とパンとお茶を振る舞っていただきました。ありがとうございました。



ザリガニは418匹捕獲しました。



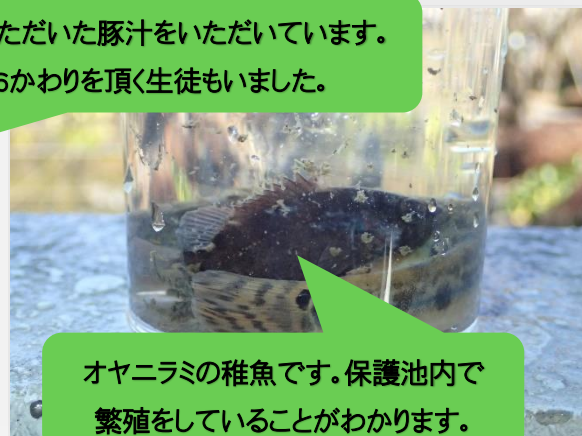
保護池内で捕獲された
ブラックバスです。



捕獲されたブラックバスを解剖し、胃内容物を取り出しました。特徴的な棘をもつハリヨの骨が見えます。



振る舞っていただいた豚汁をいただいています。
何度もおかわりを頂く生徒もいました。



オヤニラミの稚魚です。保護池内で
繁殖をしていることがわかります。

● 現在の活動の様子

現在でも科学部は定期的な中川ハリヨ保護区的环境、生息数の定点観測を続けています。観測をはじめて今月でちょうど1年になります。池田町における教育機関として、貴重なデータを欠かさず取り続け、蓄積していきたいと思っています。



